

は
う
だ
公
民
分
館
だ
よ
り

編集発行
豊中市原田公民分館

平成26年9月

春の社会見学

6月11日(水) くもり
鳥取砂丘《砂の美術館》



6月11日は暦の上では入梅ということですが、天気予報とにらめっこしながらの社会見学の準備でしたが、今回も39名の多くの方に参加していただきありがとうございました。当日は「日本海に行くときは弁当忘れても傘忘れるな」との諺もあるくらいなので、多生天候の心配をしながら予定通り原田バス停を8時に出発、中国自動車道を西へ、途中の加西で休憩後、鳥取自動車道の道の駅(あくわらんど)にて地元野菜とくだもののお買い物をし、今回の目的、鳥取砂丘に描かれた《砂の美術館》見学です。

今年で第7期になるとの事ですが、今回のテーマは「砂

で世界旅行・ロシア編」で、世界遺産、聖ワシリイ大聖堂に代表されるクレムリンの景観や、文学や音楽に代表されるロシア芸術の魅力など、21作品が圧倒的なスケールと繊細なタッチで砂に描かれ、感動的な時間を過ごす事ができましたように思います。

「世界が尊敬する日本人100人」に選ばれた砂彫刻家・茶圓勝彦氏を総合プロデューサーとして総勢10名の世界を代表する彫刻家の作品、そして実際に彫刻をされている作業もみる事ができ、来年の作品にも期待を寄せてみたいと思えました。

昼食後は砂丘での散策、賀露港では2メートル近い人食い鮫が水揚げされており、おっかなびっくり！でもしつかりたくさん魚介類をおみやげに購入。

帰りの道中でも「とうふちくわの里」で試食とまたまたお買い物。

車中でも楽しく過ごしながら、予定の時間通りに帰ってくる事ができました。次は秋の社会見学です。これから楽しい場所を考えて計画をしていきたいと思っておりますので、次回の参加も是非よろしく願います。ありがとうございます。



砂像公開制作

制作者

茶圓勝彦

CHAEN KATSUHIKO

砂像彫刻家

砂の美術館 総合プロデューサー
鹿児島県南さつま市加世田在住